

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

### 三学期が始まりました

大みそかから元日にかけて多少雪が積りましたが、比較的穏やかな年の瀬でした。クリスマス、そしてお正月と子ども達は家族団らんで楽しいひと時を過ごしたのではないのでしょうか。新年あけましておめでとうございます。このまま新学期を迎えられると思っていましたが、大雪の3学期スタートになりました。

今日元気に登校する笑顔いっぱいの子供達と再会することができ、とても温かい気持ちになりました。静まり返って寒々とした校舎に活気が戻り、気持ちを新たにしながら3学期のスタートをきることができました。大きな事故やけがもなく、楽しい冬休みを過ごすことができたこと、そして冬休みの課題等、保護者の皆様の指導と支援に感謝いたします。

3学期は45日しかない大切なまとめの学期です。その学年で学ぶことをしっかりと身に付け、次の学校・学年に進学・進級していくという意識を高める学期です。中学校へ進学する6年生、学校のリーダーを引き継ぐ5年生、そのほかの学年もどんな姿で進級するのかを思い描かせながら学校生活を送らせたいと思います。保護者の皆様、3学期もよろしく願いいたします。

#### 「みんな違ってみんないい」 ～3学期始業式の話から～

インフルエンザの感染拡大のため中止になった11月の全校朝会で話す予定だったことを話しました。(子ども達にはもっとかみ砕いた分かりやすい言葉で話しました。)

生物は群れで生活(集団で行動)することで、素早く敵に気づき身を守ったり、効率的にえさを手に入れたりすることができるといわれています。また、同じ群れで生活する生物の中には、性質や行動に多様性があるのだそうです。さらに、他の個体の行動に同調する動きをとることがあるそうです。そうすることで群れ(集団)がより強くなるのだそうです。よってそれぞれの個体が群れの中で大切な役割をもっており、大切な存在であるといえます。

みなさんも集団で学校生活を送っています。物事を素早く決め、様々なことに積極的に行動する子もいれば、迷いながらじっくりと考え結論を出してから行動する子もいます。中には、たくさんの子が賛成したことにもしっかり反対できる子もいます。当然ですがみなさんの中にも多くの多様性があり、集団の中で同調して行動する姿が見られます。

そんな時、相手の考えをありのままに受け止め、正しいことを見極めようとしないで、「多い方が中心」とか「少ない方がおかしい」とか、「自分と違う考えはおかしい」とか間違った考えが見られることがあります。

人はそれぞれ性格も人柄も考え方も違います。できることも違えば、できないことも違います。一人ひとりがなくてはならない大切な存在であることを忘れず、相手をありのまま受け止め大切にしていってそんな3学期にしましょう。

## 「三学期の目標」

児童会書記 角掛 ゆうり

私は、三学期に入って、大きく二つのことを目標にしてがんばりたいと思います。

一つ目は、執行部の立場として、自分から気づき、行動することです。最初は、先生に言われてから気づくことが多かったけど、どんどん自分達から気づいて、行動することが増えてきました。でも、気づくのがおそくて、練習があまりできなかつたり、ぎりぎりになってしまったりすることもあったので、今まで以上に、責任感を持ち、考えて行動をしたいです。

二つ目は、個人としてです。個人としては、努力を積み重ねることと、雰囲気づくりを中心に取り組んでいきたいと思っています。具体的には、授業で分からないところを、先生や友達に積極的に聞いて、何度も練習していきたいです。また、あいさつや言葉づかいをよりにねいにし、クラスみんなが心地よく過ごせる雰囲気づくりを意識したいです。なるべく前向きな言葉を使って、みんなでいい雰囲気を作っていきたいです。

私は、この二つの目標をもとに卒業まで全力でがんばっていききたいです。執行部の立場や、個人の立場としても、卒業までの残り時間の一日一日を大切にしていきたいと思っています。

全校のみなさんも、それぞれの学年のまとめをがんばっていきましょう。

### 引き続き感染症対策をお願いします

2学期はインフルエンザの感染拡大に伴い閉鎖する学年もありました。特にインフルエンザは感染拡大のスピードが速く、最初りに患が確認されてから3日で感染がピークに達しました。3学期も感染症対策を講じながら教育活動を実施し、できるだけ学級を閉鎖することなく学習の機会を保障していきたいと思っています。子ども達が元気に学校生活を送ることができるようご家庭でのご協力をお願いいたします。

- 1 バランスの良い食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけてください。
- 2 熱がなくても風邪様の症状がある場合は無理をせず休養をとらせてください。
- 3 家庭内にり患者がいても、本人が元気で症状がなければ登校できます。
- 4 マスクの着用は原則子どもに任せていますが、学級の感染状況によっては教室内ではマスクの着用を推奨する場合があります。常にマスクを持たせていただきたいと思います。（学級の感染状況によりますので、一律ではありません）

- ・しっかり食事
- ・たっぷり睡眠
- ・適度な運動
- ・手洗い
- ・症状があるときはマスク着用
- ・定期的な換気

